

めざす児童生徒像

- 思いや考えを持ち、伝えることのできる子
- 友だちのよさを見つけることのできる子
- 互いに高め合うことのできる子

※児童生徒結果-教員結果-保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
学校重点項目 (学校で設定)	自己肯定感の向上	①②において90%以上	① 教師は、児童のよさを認め、引き出す声掛けをしている。						
			② 教師と児童とが互いに信頼し温かい関係ができてきている。						
			③ キャリアパスポートを活用し、学びや成長を実感できるようにする。						
			集計						
石川県共通 重点項目	働き方や業務の改善	①②において90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができてきている。						
			③ 効率的な業務の進め方を工夫している。						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	①②③において90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。							
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。							
			③ 児童のつまずきを予想し、そのための手立てを考えた授業実践に取り組んでいる。							
			集計							
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①②⑦において児童教師共に85%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
学力の向上	カリキュラム・マネジメント	②③において90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。							
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。							
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。							
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)							
家庭学習	①において90%以上		① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。							
			② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。							
			集計							
			集計							